

●子どもの感染対策について思うことがある。健康な子どもたちの長時間、長期間の一律のマスク着用による健康被害についても憂慮する必要がある。体育の時間の死亡事故に限らず、酸素不足による脳の働きの低下など子どもの健康、成長においてのデメリットはかなり深刻と考える。

マスク着用の中長期的な健康被害や成長への影響を知り、すべての年代にこれが周知されるメッセージを出してほしい。

学校等における感染症対策は、文部科学省が示す「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に則って行っております。

体育の時や登下校の時、屋外で活動する時には、マスクをはずすように声を掛けています。また、児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断で適切に対応できるように、各学校において、発達段階に応じた指導をしてきたところです。市は国や県の方針に基づき、今後も新型コロナウイルス感染症対策特別号などを活用し、正しい情報提供に努めてまいります

(担当 学校教育課・新型コロナウイルス対策課)

●保原総合公園でウォーキングをしている。外周を歩いていますが、もっと歩き易くするため南側の市道に歩道を設け、100m単位で標識を設置していただきたい。私は肺に疾患があるため、リハビリ用に歩いた距離を知りたいと思う。

道路に歩道を設けることは快適にウォーキングするための方策の一つですが、市としてはより安全に快適にウォーキングをしていただくために保原総合公園内の園路のご利用を推奨しております。

公園内であれば車の排気ガスの吸引や交通事故の危険はありません。また、園路は多少の起伏があるため平坦な道路に比べれば身体への負担は増すかもしれませんが、一方で園内には多数の休憩施設やトイレが設置されていますので、快適性は向上すると考えています。この機会に道路だけでなく保原総合公園内でのウォーキングも検討していただければ幸いです。

なお、園路のご利用を推奨していることから道路に新たな標識を設置することは考えていませんが、今後は、園路のコースや距離数を明示したウォーキングマップなどの作成を検討していきます。

(担当 健幸都市づくり課・都市整備課)

●田舎に住んでいると免許証返納が不便でならない。まちなかタクシーで出かけており、乗車料金を200円割引する券を使っているが、せめて1回の乗車で2枚使えるようにしてほしい。町の発展にもなると思われるため、よろしくお願いする。

デマンド交通（まちなかタクシー）は、地域毎に料金が設定されており、運転免許返納支援制度の支援を受ける方がどの地域にお住まいでも1回あたり同じ額の支援を公平に受けられるように、1乗降につき割引券1枚の使用としております。

現在、市民の皆さまにとって利用しやすいようデマンド交通の運行内容について見直しを検討しております。デマンド交通の見直し内容を踏まえ、運転免許返納支援制度の内容についても検討してまいります。

(担当 生活環境課)

●伊達市は高齢者が多く独り暮らしが多くなってきていると思う。雪かきもできない高齢者もいる。ボラ

ンティアの人がいるのは分かって、手続きが分からない人が多い、市で簡潔にして貰えたらと思う。

伊達市内でのボランティアの派遣につきましては、伊達市社会福祉協議会の中にボランティアセンターがございます。

また、お住まいの地域内の困りごとに対応する有償によるボランティア事業を実施している地域自治組織もございます。

併せて、ボランティアではございませんが、伊達市シルバー人材センターもございます。こちらも様々な作業を行っております。

ボランティアに関する相談先等について、市の広報紙などでもご案内していきたいと考えております。今後、地域で支え合う体制の充実に向けた支援も進めてまいります。

(担当 高齢福祉課)